

# 【事例紹介】当財団による学校支援の取り組み

## 事例1:私立A中学校(東京都)による夏期民泊実習

【2学年・群馬県みなかみ町等・3泊4日・バス移動】

ねらい	訪問地(農山漁村)の資源・課題を活用した“生きる力の育成”と“探究的な学習”への展開				
打合せ	前年度、当財団との打ち合わせ(当財団→訪問地の手配先との調整等)				
下見	4月、訪問地(群馬県みなかみ町)の下見				
事前学習	5月、訪問地(群馬県みなかみ町)の地域資源等の紹介(講師:当財団の職員)		6月、訪問地で活動する自然保護団体の取組みの紹介(講師:自然保護団体の職員)		
現地学習	7月(3泊4日)、群馬県みなかみ町等/参加生徒数:172名/移動方法:バス(4台)				
	□訪問地の地域資源を活用したテーマ別の体験活動 (①茅場の保全、②自然環境、③歴史、④里山の保全)		□訪問地でのホームステイ (①民泊家庭での家事・家業体験、②民泊家庭との対話)		
		1日目	2日目	3日目	4日目
	午前	学校発 移動(バス)	民泊家庭での 家事・家業体験	民泊家庭 とのお別れ	訪問地の集落を巡る オリエンテーリング
	午後	訪問地の 地域資源を活用した テーマ別の体験活動 ----- 民泊家庭との合流	民泊家庭での 家事・家業体験	利根川(東京都の水源) を活用した アクティビティ体験	移動(バス)  学校着
	夜	民泊家庭との対話	民泊家庭との対話	ふりかえり	
泊	民泊体験 (少人数による分泊)	民泊体験 (少人数による分泊)	ホテル (集団宿泊)		
事後学習	9月～翌年2月、各生徒による群馬県みなかみ町の課題解決策の考察		翌年3月、各生徒が考察した群馬県みなかみ町の課題解決策の発表		

学校  
最初にいただいた  
主なご相談事項



- ①宿泊行事で使用していた宿泊施設の閉鎖に伴い、新たな実施場所を探している。
- ②次の事項を盛り込んだ宿泊体験活動を提案してほしい。
  - “訪問地(農山漁村)の資源・課題”を活用した探究的な学習が行えること  
(実施後、“訪問地の課題解決策”を考察・発表する学習につなげる)
  - 訪問地のご家庭に宿泊できる“民泊体験(ホームステイ)”を行えること
- ③“民泊体験(ホームステイ)”を実施したことがないので、必要なノウハウを教えてください

### 当財団による伴走支援

当財団  
主なご協力事項



- ①同校のねらいや条件にかなう“複数の農山漁村地域”をご紹介します。
- ②訪問地と調整して、“訪問地の資源・課題を活用した体験プログラム”をご提案しました。
- ③“民泊体験(ホームステイ)の準備・実施に必要なノウハウ”をご紹介します。
- ④“担当教員による下見”を手配しました(当財団の職員による同行)。
- ⑤“訪問地及び貸切バスなどの手配”を一括で対応しました(学校の手続きの簡素化)。
- ⑥当財団の職員が“事前学習の講師”、“現地学習の添乗員”を担当しました。

## 事例2:私立B高等学校(東京都)による“職業体験活動(コース選択制)”

【2学年・福島県喜多方市・2泊3日・バス移動】

ねらい	農業体験・農家交流を通じて、生きる力と共に、職業観・勤労観を育む			
打合せ	前年度、当財団との打ち合わせ(当財団→訪問地の手配先との調整等)			
下見	5月、訪問地(福島県喜多方市)の下見(当財団の職員の同行)			
事前学習	6月、福島県喜多方市及び農業の近況に係る解説(講師:当財団の職員)			
現地学習	8月(3泊4日)、福島県喜多方市／参加生徒数:31名／移動方法:バス(1台)			
	口訪問地(福島県喜多方市)での農家ホームステイ			
	①受入農家での家事・農作業体験			
	②受入農家との対話(聞き書き)			
		1日目	2日目	3日目
午前	学校発 移動(バス)	受入農家での 家事・農作業体験	受入農家での 家事・農作業体験	
午後	入村式 (受入農家との合流)	受入農家での 家事・農作業体験	離村式 (受入農家との合流)	
	受入農家での 家事・農作業体験			移動(バス) 学校着
夜	受入農家との対話(聞き書き)	受入農家との対話(聞き書き)		
泊	福島県喜多方市の農家 (少人数による分泊)	福島県喜多方市の農家 (少人数による分泊)		
事後学習	9月以降、各生徒は農業・農家について察したレポートを提出 (文集発行の予定)		  	

**学校**  
主なご相談内容



- ①本校では、“農業”という職業について探究するために“農家民泊体験”を実施してきた。
- ②しかし、この3年間は新型コロナウイルス感染拡大予防に考慮して実施できなかった。  
(また、農家民泊の受入地域ではコロナ禍で受入休止したところが多いと聞いた。)
- ③そこで、“2泊3日以上”の農家民泊”を行える地域を紹介してほしい。  
(条件:農家に寄宿しながら農作業等を体験し、農業・農家について聞き書きできること)
- ④受入側に感染対策等の要望があるようであれば、それも教えてほしい。

### 当財団による伴走支援

**当財団**  
主なご対応事項



- ①同校のねらいや条件にかなう“複数の農山漁村地域(候補地域)”をご紹介しました。
- ②“候補地域で実施する場合にかかる費用(バス代を含む)”をお見積しました。  
※同校は候補地域の中で実施先を決定しました。
- ③“担当教員による下見”を手配しました(当財団の職員による同行)。
- ④“訪問地及び貸切バスなどの手配”を一括で対応しました(学校の手続きの簡素化)。
- ⑤当財団の職員が“事前学習の講師”、“現地学習の添乗員”を担当しました。

# 事例3:私立C高等学校(東京都)による“コロナ禍での日帰り職業体験活動”

【2学年・栃木県益子町及び千葉県鴨川市・日帰り・バス移動】

ねらい	農業体験・農家交流を通じて、生きる力と職業観・勤労観を育む(コロナ禍での日帰り体験)			
打合せ	前年度、 <b>担当教員との打ち合わせ(候補地との調整等)</b>			
ご提案 (概要)	5月、候補地の“日帰り・農村体験プログラム(3コース)”のご提案			
	<input type="checkbox"/> コース1:栃木県益子町でのトマト収穫・選別作業(道の駅ましこ) <input type="checkbox"/> コース2:千葉県鴨川市での間伐体験(里山整備体験) <input type="checkbox"/> コース3:千葉県鴨川市の農家民宿での家事・家業体験			
	  			
	行程	コース1	コース2	コース3
		8月/栃木県益子町	8月/千葉県鴨川市	8月/千葉県鴨川市
	午前	学校発 移動(バス)	学校発 移動(バス)	学校発 移動(バス)
		栃木県益子町・着	千葉県鴨川市・着	千葉県鴨川市・着
		①入村式	①入村式	①入村式
	午後	②トマト収穫 (道の駅ましこ)	②間伐体験 (里山整備体験)	②農家民宿での 家事・家業体験
		③トマトの選別作業 (道の駅ましこ)	③間伐体験 (里山整備体験)	③農家民宿での 家事・家業体験
④離村式		④離村式	④離村式	
移動(バス) 学校着		移動(バス) 学校着	移動(バス) 学校着	

<b>学校 主なご相談内容</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>①本校では、職業体験活動の一環で、農業体験・農家交流を実施してきた。</li> <li>②しかしながら、昨年度は新型コロナウイルス感染拡大予防に考慮して実施できなかった。(また、“体験のみ”でしか受けられない農山漁村地域が多いと聞いた。)</li> <li>③そこで、“日帰りで農業体験”を行える地域を紹介してほしい。(条件:バスで伺える地域で、農作業を体験し、農業・農家について聞き書きできること)</li> <li>④受入地域からの感染対策等の要望も教えてほしい。</li> </ul>
--	--

## 当財団による伴走支援

<b>当財団 主な協力事項</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>①同校のねらいや条件にかなう“複数の農山漁村地域(候補地域)”を紹介しました。</li> <li>②候補地域と調整して、“日帰り・農村体験プログラム(3コース)”を提案しました。 ※感染対策についても調整しました。</li> <li>③“候補地域で実施する場合にかかる費用(バス代を含む)”を見積もりました。</li> </ul>
--	--

当財団では学校からのお問い合わせをお待ちしています。

お気軽にご連絡ご相談ください

【お問い合わせ先】(一財)都市農山漁村交流活性化機構(まちむら交流きこう)

担当:花垣・清水・長谷川

TEL 03-4335-1987

メールアドレス kodomo@kouryu.or.jp